

「愛されて強運になる」魔法の法則

21. あなたの身に起こるすべて”幸福の予兆”

恋人に捨てられたら、人間は神に等しい荘厳な存在であり、自分もその一人であることを思い起こしなさい。

パートナーが若い恋人を見つけて自分のもとを去り、落ち込んでいる女性がありました。女性は激しい怒りと憎悪の念に燃え、急性の関節炎（リウマチ）に冒されました。関節リウマチは原因不明の難病で、治癒は困難と言われています。

女性は、屈辱と痛みに苦しめられながらも放いを求め、マーフィー博士の著書『人生に勝利する』を十六回も繰り返し読んだのです。そして彼女は自分の中にすべての原因が潜んでいたことに気がつきました。

「自分の肉体は生きた神の宮殿であり、私は自分の体の中の神を賛美する」

彼女は一日三回、十五分ずつ、この言葉をベースにして自分と去っていった彼のために願いました。三カ月たった頃、奇跡が起きました。浮腫と耐え難い痛みがなくなり、関節が楽に動かせるようになったのです。同時に、彼に対する憎悪も消えてなくなりました。

この女性に起こった奇跡について、マーフィー博士は次のように述べています。

「彼女が自分を愛し、尊敬し始めたとき、すべての憎悪が消え、真空を満たすように愛が突然どっと入ってきたことに気づいたのでした。愛というものは、健康や幸福や成功、繁栄の法則を達成させるものであります」

恋人に捨てられる、夫に去られる人生でこれほどのショックはありません。しかしそういうときこそ、人生で一番貴重な何かをつかむ絶好のチャンスが巡ってきているのです。

自分に起きた事柄を、自分の気持ちだけで判断してはいけません。自分にとって苦しいこと、悲しいことであっても、それが「最善のこと」の場合もあるからです。たとえば、あなたを捨てた恋人は、あなたにとってふさわしい相手ではなく、捨てられることによってあなたが救われるということが現実起きています。

人間にはある種のアンテナがあって、それは未来の運命を予見し、その人をよいほうへ、あるいは悪いほうへと導くのです。何かの理由で今日乗る予定の飛行機に乗れなくなり、命拾いした人もいれば、やっと間に合ったと飛び乗って命を落とす人もいます。これらはすべて潜在意識の働きのなせるわざなのです。

マーフィー 運がよくなる魔法の練習帳 マーフィー理論研究会 編著